第4回上牧町議会改革検討委員会の要点記録

日 時 7月20日(木)午後10時~11時25分

場 所 議会委員会室

出席者 堀内、富木、長岡、辻、石丸、芳倉、服部

東

欠席者 吉川

傍聴者 2名

配付資料 ①第3回議会改革検討委員会要点記録

- ②議会改革フォーラム交流会議開催資料
- ③全国自治体議会の運営に関する実態調査2012の結果速報

協議事項 (1)議会基本条例への取り組みについて

- ・まちづくり基本条例策定委員会・議会部会との意見交換において問題 提起があった諸課題について、前回の要点記録をもとに論点整理が行わ れた。
 - i.まちづくり基本条例は理念的なものが中心に構成される。従って 具体的な内容を盛り込んだ議会基本条例制定が必要であり、それぞれ 並立して補い合う関係にある。出来ればタイミングを合わせて取り 組んで貰いたい。
 - ii. これまでの行政と議会だけなく、住民を加えた三者による町運営を 目指す。そのために「参画と協働」「情報共有」が基本原則に据える 必要がある。
 - iii. 住民が考えている議会・議員のあり方と現状には大きなギャップがある。条例制定後においても、絶えず検証作業が必要である。
 - iv. 議会のチェック機能の強化と政策提案への取り組みが必要である。 議員の役割も一部の利益代表ではなく、町全体の利益のために働いて 貰いたい。
 - v. 一般質問が十分活用されてない。一般質問をしない議員がいたり、 フォローや報告がない例がある。発言内容については責任を持つこと が大切である。
 - vi. 討論が形骸化しており、採択に至る課程が全く見えない。議員として 自分の意見を言うようになれば、もっと勉強するようになる。
- ・各委員及び議長より、それぞれの所感と議会基本条例制定への取り組み について発言があった。議会基本条例制定へ向けての取り組みと併せて、 議会としての出来ることからの取り組みが必要であるとの意見が述べ られた。
- ・議会基本条例についての調査・研究を委員会としてテーマの一つとして 常時進めて行くことが確認された。

(2)議会インターネット中継について

- ・これまでの検討において、基本的には「Ustream」を利用した議会 インターネット中継を行うことを前提に、詰めの作業を進める。
- ・今後の課題として、①現存する設備に加えて、新たにどのような設備が必要か、②画面の切り替えに伴う要因の確保と予算措置などがある。
- ・上記を議長に答申し、理事者との協議と進めるとともに、全員協議会 など議会全体に諮る作業を要請することになった。

(3)議会報告会の諸課題について

- ・自治体議会改革フォーラム調べ (2012年3月末現在) によると、全国 自治体議会の「議会として市民と直接対話する機会」は457議会(30.5%)、 うち「議会報告会」は258議会 (17.2%) となっている。
- ・議会報告会について、各委員から①議会報告会の開催時期や回数、 ②住民要望や意見についての議会と執行側との立場の違い、③議会報告会開催の是非等について、意見が出された。
- ・議会改革の当面実現可能な取り組みの一つとして位置づけ、議会報告会 を巡る諸課題についての調査研究を、主要テーマとして取り組むことが 大方の意見で確認された。当委員会はあくまで議長の諮問機関であり、 最終的には議長が議会に諮って決定する。

(4) その他

- 1. 第 25 回近畿市町村広報紙セミナー(毎日文化センター主催、7 月 17~ 18 日、大阪市内)の報告
- ・委員3名(長岡、石丸、富木の3議員、いずれも広報委員)が参加した。 各委員から「参加してたいへん勉強になった」との所感が述べられた。
- ・所感の主なものとして、①まだまだ読み手の立場にたった議会だよりになっていない、②議会や行政の用語を分かりやすく住民に伝えることが必要、③タイトルの付け方は内容を読まなくても分かるものに、④文字だけでなく効果的な写真を使うこと、⑤議会改革を進めるうえで広報紙の役割は大きい、⑤住民から議会に意見が帰ってくるような双方型(循環型)の広報が重要、⑥表紙写真を市民参加で編集するなどの工夫が要る、⑦議会だよりについても視察・研修が必要などである。
- 2. 市民と議員の条例づくり交流会議2012 (自治体議会改革フォーラム主催、7月28-29日、東京都内)が開催される。費用の点も考慮して委員会として委員1名を派遣することとし、辻議員に決定した。
- 3. 議会広報に関して委員外議員の発言を求める意見が出されたが、議会としてのルール作りが必要であり今後の検討課題とした。
- 4. 第5回議会改革検討委員会は、8月21日(火)午前10時から開催する。